

船橋市インターンシップ実施要綱

(要綱の目的)

第1条 この要綱は、船橋市（以下「市」という。）が実施するインターンシップに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(インターンシップの目的)

第2条 インターンシップは、学生等に対し市における就業体験の機会を設けることにより、学生等の職業意識の向上及び市政に対する理解の促進を図ることを目的とする。

(インターンシップの対象者)

第3条 インターンシップの対象者は、次の各号の教育機関（以下「大学等」という。）の学生等とする。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する大学(大学院及び短期大学を含む。)、高等専門学校及び高等学校

(2) 前号に掲げる教育機関に準じるものとして市長が認めるもの

(インターンシップの受入手続)

第4条 学生等は、インターンシップを希望するときは、市長に対し、船橋市インターンシップ実習受入申込書（第1号様式）を提出するものとする。ただし、高等学校の生徒がインターンシップを希望する場合は、高等学校の代表者は、市長に対し、船橋市インターンシップ実習受入申込書【高等学校用】（第1号の2様式）を提出するものとする。

2 市長は、前項の規定による申込みがあったときは、次の各号の事項に留意し、受入れの可否を決定し、インターンシップ実習受入可否決定通知書（第2号様式）により、当該申込みをした者に通知する。

(1) 希望する実習の理由が、第2条に規定する目的に沿うと認められること。

(2) 市が行う業務に支障がないこと。

3 前項の規定に基づく決定を行う際は、インターンシップの受入れ事務を所管する所属の長は、実習を受入れる所属の長（以下「所属長」という。）に協議するものとする。

(所属長の役割)

第5条 所属長は、実習の円滑かつ適切な実施を図るため、所属内の受入体制を整備するものとする。

2 所属長は、実習の円滑かつ適切な実施を図るため、インターンシップの実習の内容等を定めた実習プログラムを定めるものとする。

3 所属長は、実習の円滑かつ適切な実施を図るため、所属の職員の中から実習指導者を指名するものとする。

4 所属長は、大学等の代表者から実習内容等について証明を求められたときはこれを行うものとする。

(実習指導者の役割)

第6条 実習指導者は、前条第2項の実習プログラムに基づき実習内容について指導を行うものとする。

(協定書の締結)

第7条 高等学校の生徒を受入れる場合、市長及び高等学校の代表者は、第4条第2項の規

定により実習の受入れを認められた者（以下「実習生」という。）の身分の取扱い等に関し、この要綱に従い協定書（第３号様式）を作成し、各々１通保有するものとする。

（実習期間）

第８条 実習期間は、原則として２週間以内とする。

（実習時間）

第９条 実習時間は、月曜日から金曜日まで（国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日を除く。）の午前９時から午後５時までとする。ただし、当該実習の必要性等により、市長は、別の時間帯に実習時間の変更を行うことができる。

（報酬等）

第１０条 市は、実習生に対して、報酬、賃金、居住地から実習場所までの交通費、食費その他実習に伴ういかなる経済的負担も行わない。

（身分、服務等）

第１１条 実習生は、職員としての身分を保有しない。

- ２ 実習生は、実習時間中は専ら所定の実習に従事し、実習の目的の達成に努めなければならない。
- ３ 実習生は、実習時間中、職員が遵守すべき法令、条例等を遵守するとともに、所属長及び実習指導者の指導及び指示に従わなければならない。
- ４ 実習生は、実習により知り得た情報（公開されているものを除く。）を他に漏らしたり、自己の利益のために利用してはならない。実習終了後においても同様とする。
- ５ 実習生は、実習の成果として論文等を外部へ発表する場合は、事前に市長の承認を得なければならない。
- ６ 実習生は、病気等のため予定されていた実習を受けることができない場合には、あらかじめ所属長にその旨を連絡しなければならない。

（誓約）

第１２条 実習生は、誓約書（第４号様式）を市長に提出しなければならない。また、高等学校の代表者は、この誓約の遵守について実習生に対し指導徹底するものとする。

（実習の中止）

第１３条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、実習を中止することができる。

- (1) 実習生が、第１１条に定める服務義務に反する行為を行ったとき。
 - (2) 実習を継続することにより業務に支障が生じたとき、又はそのおそれがあるとき。
 - (3) 実習の目的を達成することが困難であると認められるとき。
- ２ 市長は、前項の規定により実習を中止する場合は、その旨を実習生及び高等学校の代表者に通知するものとする。

（事故等に対する責任）

第１４条 実習生及び高等学校の代表者は、実習中の事故に備え、傷害保険及び賠償責任保険に加入し、実習中の事故に関しては、自らの責任において対応しなければならない。

- ２ 実習生は、故意又は過失をもって第１１条第２項から第５項までの規定に反する行為により市又は第三者に対して損害を与えた場合は、これらに対して責任を負わなければならない。また、高等学校の代表者は、実習生と連帯して責任を負わなければならない。

(その他)

第15条 この要綱に定めるほか、インターンシップに関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年5月6日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月17日から施行する。

第 1 号様式

船橋市インターンシップ実習受入申込書

年 月 日

申込みをする学生等

ふりがな				生年月日	
氏名					
住所等連絡先	〒				
	電話番号		メールアドレス		
教育機関名称					
学部・学科				学年	年

希望理由・希望部署等

船橋市での実習を希望する理由			
希望部署		希望日程	当部署での実習で携わりたい業務
第1希望			
第2希望			
第3希望			
第4希望			
第5希望			
実習参加不可日			

第1号の2様式

船橋市インターンシップ実習受入申込書【高等学校用】

年 月 日

申込みをする高等学校の代表者

高等学校名称		代表者職氏名	
--------	--	--------	--

実習を希望する生徒

ふりがな				生年月日		
氏名						
住所等連絡先	〒					
	電話番号		メールアドレス			
学科					学年	年

希望理由・希望部署等

船橋市での実習を希望する理由			
希望部署		希望日程	当部署での実習で携わりたい業務
第1希望			
第2希望			
第3希望			
第4希望			
第5希望			
実習参加不可日			

第2号様式

船橋市インターンシップ実習受入可否決定通知書

年 月 日

様

船橋市長 松 戸 徹

年 月 日付けで申込みのあったインターンシップ実習の受入れについては、下記のとおり決定したので、船橋市インターンシップ実施要綱第4条第2項の規定により通知します。

記

学生等氏名	受入の可否
	可 ・ 否

受入期間	年 月 日 () ～ 年 月 日 ()
受入部署	

※ 実習開始までに傷害保険及び賠償責任保険に加入できなかった場合や、都合等により実習を受けることができなくなった場合には、速やかに市に連絡のうえ、当該理由を記した取下書を提出すること。

第3号様式

船橋市インターンシップに関する協定書

船橋市インターンシップ実施要綱第7条の規定に基づき、船橋市（以下「甲」という。）と
_____（以下「乙」という。）の間において、以下のとおり協定を締結する。

（実習生の受入れ）

第1条 甲は、乙に所属する学生の職業意識の向上と、市政に対する理解を深めることを目的として乙に所属する下記生徒を実習生として受入れるものとする。

実習生氏名 _____
学科（学年） _____（ _____ 年）

（実習期間及び時間）

第2条 実習生が実習を行う期間は、_____年 _____月 _____日から _____年 _____月 _____日までとする。実習を行う時間は、午前9時から午後5時までとし、途中45分の休憩時間を置くものとする。ただし、特に必要があると認められる場合には、実習受入先の所属長が別に定めることができる。

（報酬等の不支給）

第3条 甲は、実習生に対して、報酬、賃金、居住地から実習場所までの交通費、食費その他実習に伴ういかなる経済的負担も行わない。

（実習生の身分等）

第4条 実習生は、甲の職員としての身分を保有しない。

2 実習生は、実施時間中は所属長及び実習指導者の指導及び指示に従わなければならない。

3 実習生は、病気等のため予定されていた実習を受けることができない場合には、あらかじめ所属長にその旨を連絡しなければならない。

（実習に専念する義務）

第5条 実習生は、甲の職員の指示に従い、実習時間中は専ら実習に専念し、実習の目的達成に努めなければならない。

（信用失墜行為の禁止）

第6条 実習生は、甲の職務の信用を傷つけ、又は不名誉となる行為をしてはならない。

（法令を遵守する義務）

第7条 実習生は、実習期間中、甲の職員が遵守すべき法令、条例等を遵守しなければならない。

（守秘義務）

第8条 実習生は、実習により知り得た情報（公開されているものを除く。）を他に漏らしたり、自

己の利益のために利用してはならない。また、実習終了後においても同様とする。

- 2 実習生は、知り得た個人情報について実習を行うため以外に使用し、又は第三者に引き渡してはならない。また、個人情報を使用する場合についても、甲の指示によることとする。
- 3 実習生は、甲の指示又は承諾があるときを除き、この実習を行うために甲から貸与された個人情報が記録された資料等を複写し、または複製してはならない。
- 4 実習生は、実習の成果として論文等を外部に発表する場合は、あらかじめ甲の承認を得なければならない。

(実習中の事故責任等)

第9条 乙及び実習生は、実習期間中の事故等に備えて、傷害保険及び賠償責任保険に加入し、実習中の事故に関しては、自らの責任において対応しなければならない。

- 2 乙及び実習生は、実習生が故意又は過失をもって第5条から第8条までの規定に違反する行為により市又は第三者に対して損害を与えた場合は、これらに対して連帯して責任を負わなければならない。

(実習生の提出書類)

第10条 実習生は、第5条から第9条の規定を遵守するため、甲に対して船橋市インターンシップ実施要綱第12条に定める誓約書を事前に提出しなければならない。

(実習の中止)

第11条 甲は、実習生が第5条から第9条の規定に違反する行為を行ったときは、実習生の実習を中止することができる。この場合、甲は乙にその旨通知するものとする。

(その他)

第12条 この協定に定めのない事項及び疑義が生じたとき、または改正の必要が生じたときは、甲、乙協議の上決定するものとする。

本協定の締結を証するため、本協定書を2通作成し、甲、乙それぞれ記名の上、それぞれ1通を保管するものとする。

年 月 日

甲 船橋市湊町2丁目10番25号
船橋市
船橋市長 松 戸 徹

乙

誓 約 書

年 月 日

船橋市長 あて

教育機関名（学校・学部・学科）

住 所 _____

氏 名 _____

私は、船橋市において、インターンシップ実習を受けるにあたり、以下の事項を遵守することを誓います。

1. 実習時間中は専ら所定の実習に従事し、実習の目的の達成に努めます。
2. 実習時間中、職員が遵守すべき法令、条例等を遵守するとともに、実習を受入れる所属の長及び実習指導者の指導及び指示に従います。
3. 実習により知り得た情報（公開されているものを除く。）を他に漏らしたり、自己の利益のために利用しません。実習終了後においても同様とします。
4. 実習の成果として論文等を外部へ発表する場合は、事前に市長の承認を得ます。
5. 病気等のため予定されていた実習を受けることができない場合には、あらかじめ実習を受け入れる所属の長にその旨を連絡します。
6. 故意又は過失をもって上記の事柄に反する行為により、船橋市又は第三者に対して損害を与えた場合は、これらに対して責任を負います。
7. 実習中の事故に備え、傷害保険及び賠償責任保険に加入し、実習中の事故に関しては、自らの責任において対応します。